



青木 和夫 議員



市政全般について

問 ①人口減少問題について現状認識と具体的な取り組みは②古河駅東部土地区画整理事業の事業完了後の構想と完了はいつか③(仮)南古河駅の設置は起爆剤が必要と思うが、今後の取り組みは④筑西幹線道路の整備の計画と具体的な取り組みは⑤未来産業基盤強化プロジェクトの予定地、規模、目標年次について⑥防災・減災体制の危機管理体制は万全か。雨水対策は⑦公

共施設の再配置について、今後の方針、学校の統廃合の方針は。

答 (市長) ③新駅設置に向け、あらゆる可能性を探りながら取り組んでいく。⑤境古河インターチェンジ周辺を候補地とし段階的に開発していく。

答 (企画政策部長) ①古河市の人口は2000年をピークに減少している。地域資源を生かした取り組みを通じて人口減少を最小限に食い止める。

答 (総務部長兼危機管理監) ⑥防災機能を三和庁舎に一元化し、民間企業とも応援協定で連携を図っている。慢心することなく、万全となるよう日々努めていく。

答 (財政部長) ⑦長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化等を行い、公共施設全体の最適化を

図る必要がある。

答 (都市建設部長) ②新市街地は、住宅地形成、商業施設等複合的な市街地形成を目指し、早期完成に向け取り組んでいく。

④新4号国道柳橋北交差点から西側区間の概略ルートは、早期事業化に向け要望を行っていく。

答 (上下水道部長) ⑥雨水被害軽減のため古河市雨水管理総合計画の策定を進めている。

答 (教育部長) ⑦学校の適正規模や適正配置について対応を検討していく必要がある。



園部 増治 議員



真政会「令和4年度予算および事業に関する要望」より

問 新型コロナにより、行政自治会や自主防災組織の活動が休止となり、地域力の低下が懸念される。再開に当たっては、十分なサポートをお願いしたい。

答 (市長) 人口減少等の課題解決のため、まちの活力維持、活性化は重要である。

答 (市民部長) 自治組織が地域の特性に合った活動ができるよう引き続き支援していく。

問 市長と語ろうまちづくりの中で新駅設置の要望があった。周辺整備も含め、大堤南部土地区画整理事業の事業認可に向けて動き出していきたい。

答 (企画政策部長) 現在、大堤南部地区の道路拡幅整備等を進めている。新駅設置に向け、できることから行っていく。

答 (都市建設部長) 大堤南部土地区画整理事業は、新駅整備と歩道を合わせ進めていきたい。

問 筑西幹線道路は、三和、総和、古河地区を結ぶ交通網として不可欠であり、災害時における避難路にもなる。都市計画道路とともに整備を望む。

答 (市長) 筑西幹線道路の延伸

は、非常に重要と認識している。

答 (都市建設部長) 県に早期事業化への要望を継続していく。

問 国道354号線と4号線が交差する大堤交差点付近は、渋滞が激しい交差点として県内でも有名である。渋滞解消を望む。

答 (市長) 継続して国や県に要望活動を行っていく。

答 (都市建設部長) 大堤交差点交通量調査結果を国、県と共有し連携して取り組んでいきたい。



国道354号線の渋滞状況